

外部評価委員会結果記録書

令和 5 年 1 0 月 3 日作成

評価年月日	令和 5 年 8 月 1 7 日 (木)
評価の概要	<p>1 令和 4 年度の EMS の取組結果について</p> <p>温室効果ガス排出量は大きく削減できているが、電力事業者の排出係数頼みであり、電力使用量自体を削減する手立てを考える必要がある。</p> <p>EMS は継続的に取り組むものであり、職員の意識改革ができて、より前向きに楽しくできることが大事である。他県の例なども参考に、楽しく取り組んでもらいたい。また、成果をどう見せていくかも大事である。</p> <p>温室効果ガス排出量は目標を大きく達成しているが、項目ごとにみると基準年度比で増加しているものもある。それぞれの項目についてよく分析し、計画期間を通じてトータルで評価して次につなげていってほしい。</p> <p>化石燃料の使用を極力なくし、電力に置き換える中でも絶対量を減らしながら再生可能エネルギーの比率を高め、温室効果ガスの絶対量を減らすようしっかり進めてほしい。</p> <p>取組結果の公表は、わかりやすいものにしてほしい。</p> <p>電力使用量については、LED 化や事業者の排出係数など難しい面はあるが、削減に向け関係所属を精一杯指導してほしい。</p> <p>2 岡山県エコ・オフィス・プランについて</p> <p>新築建築物の Z E B 化について、予算の制約で実施できないということのないよう取り組んでもらいたい。</p>

カーボンバジェットの観点から、できるだけ早く温室効果ガスの排出量を削減することが求められており、その対策を打ち出していく必要がある。学校施設などは古くてエネルギー効率が悪いということだが、生徒が参加して断熱リノベを実施して成果を出したという事例がある。このような工夫をして効果を上げていくことも必要と思う。

3 令和5年度のEMSの取組について

削減に向けてハード面を検討することと全職員で取り組むことは別だが、みんなで取り組むことは、若い人の発想を取り入れるなどしてもう一段新しいやり方を工夫しないといけない。情報発信して共有を図るなど楽しさ、おもしろさを加えながら取り組んでいてもらいたい。

今年度からは新たなプランに基づく取組となるので、今まで以上に頑張ってもらいたい。